

## 8. 価値観

### 8-1. 生き方や考え方について

「生き方や考え方」については、独身者票の問 15 に a から k まで 11 項目にわたって質問している。これらは過去に実施された各種調査をもとに、わが国における生き方や考え方に関する価値観をあらわすと思われる質問で構成されている。回答者はそれぞれの質問に対し、「そう思う」から「そうは思わない」の 4 段階の回答を選択する。個々の質問項目についての分布は巻末の集計表を参照されたい。ここでは、これらの質問に対する回答を主成分分析により価値観尺度として凝縮し合成してみることにする。生き方や考え方については、さまざまな側面から考察しなくてはならないが、それぞれから得られる情報も多様になり解釈がむずかしくなる。そこで、主成分分析とはそれらの情報を凝縮させ、ある一定の方向性を見出そうとする因子分析の一手法である。

表 8-1 未婚者の生き方や考え方に関する質問についての主成分分析結果

	質問項目	主成分行列		バリマックス回転後	
		第1主成分	第2主成分	第1主成分	第2主成分
問15-a	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	0.736	-0.306	0.775	0.189
問15-b	子どもが小さいうちは、母親は育児に専念すべきだ	0.692	-0.074	0.602	0.350
問15-c	年をとった親は子どもが面倒をみるべきだ	0.426	0.370	0.124	0.551
問15-d	男女が一緒に暮らすなら結婚すべきだ	0.528	0.431	0.170	0.660
問15-e	子どもは法的に結婚した夫婦の間で生まれるべきだ	0.518	0.482	0.132	0.696
問15-f	結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	0.385	0.320	0.121	0.486
問15-g	男性も身の回りのことや家事をするべきだ	0.401	-0.341	0.525	-0.038
問15-h	一生独身でいるより、結婚したほうが良い	0.467	0.470	0.099	0.655
問15-i	夫に十分な収入がある場合、妻は仕事を持たないほうが良い	0.705	-0.328	0.763	0.152
問15-j	妻にとって、自分の仕事をもつよりも夫の仕事の手助けをする方が大切	0.753	-0.267	0.765	0.230
問15-k	母親が働くと、小学校にあがる前の子どもに良くない影響を与える	0.667	-0.198	0.655	0.235

因子抽出法: 主成分分析

表 8-1 は、問 15 の 11 項目すべてを投入した主成分分析結果である。主成分行列の第 1 主成分はどの項目もプラスの比較的高い数値を示し、第 2 主成分の c, d, e, f, h の項目が同じような数値でまとまっている。この特徴をもう少し明確にするために行った軸の回転後（バリマックス回転）の数値（右欄）を見ると、第 1 主成分と第 2 主成分の差が明確となった。

前者には a の「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」、b の「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念すべきだ」、g の「男性も身の回りのことや家事をするべきだ」、i の「夫に十分な収入がある場合、妻は仕事を持たないほうが良い」、j の「妻にとって、自分の仕事をもつよりも夫の仕事の手助けをする方が大切」、そして k の「母親が働くと、小学校にあがる前の子どもに良くない影響を与える」が正の高い数値でまとまっている。これらは

夫と妻の性別役割分業を示す項目群であり、含んでいることから「伝統的性役割」を示すものと考えて良いであろう。

後者には、cの「年をとった親は子どもが面倒をみるべきだ」、dの「男女が一緒に暮らすなら結婚すべきだ」、eの「子どもは法的に結婚した夫婦の間で生まれるべきだ」、fの「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」、そしてhの「一生独身でいるより、結婚したほうが良い」など結婚に関わる項目が集まっているために「伝統的結婚観」と見ることができる。

表 8-2 は上記の「伝統的性役割」と「伝統的結婚観」についての男女別年齢別の平均値の比較である。全年齢で見ると男性が男女の役割分担について正の値であるのに対し、女性は負を示している。また伝統的結婚観も同様である。男性は男女の役割分担についても結婚観についても、女性よりも伝統的な考え方を持つ。

伝統的性役割を年齢別に見ると、男性はすべての年齢階級で正の値である。20 歳代前半から 30 歳代前半までその平均値は加齢に伴って上昇している。夫と妻の家庭内の性別役割分業については、男性は年齢が上昇すると保守的な考え方が強くなる傾向があることを示している。

これに対して女性は、30 歳代前半と 40 歳代後半で 0 に近い値であるが、その他の年齢階級ではすべて負の値であり、男性とは反対に加齢にしたがって負の値が大きくなっている。このことから、伝統的な男女の性別役割分業の価値観に対して反対の考え方をもっていることになる。

表 8-2 伝統的性別役割と伝統的結婚観に関する男女の差

	年齢	男性			女性		
		平均値	標準偏差	回答者数	平均値	標準偏差	回答者数
伝統的性役割	20-24歳	0.184	0.936	82	-0.111	1.028	130
	25-29歳	0.163	0.991	52	-0.197	0.944	82
	30-34歳	0.276	1.085	34	0.002	1.051	37
	35-39歳	0.079	1.013	23	-0.225	0.934	14
	40-44歳	0.148	0.909	13	-0.358	0.961	13
	45-50歳	0.240	1.537	6	0.027	0.643	7
	全年齢	0.182	0.990	210	-0.135	0.988	283
伝統的結婚観	20-24歳	0.086	0.889	82	0.044	1.000	130
	25-29歳	0.221	1.069	52	0.016	0.970	82
	30-34歳	0.205	1.047	34	-0.299	0.864	37
	35-39歳	0.531	0.806	23	-0.836	1.016	14
	40-44歳	-0.254	1.094	13	-0.752	1.149	13
	45-50歳	-0.954	0.460	6	-0.452	0.704	7
	全年齢	0.137	0.982	210	-0.101	1.003	283

伝統的結婚観については、男性の 20 歳代前半から 30 歳代後半の年齢階級において、また女性の 20 歳代前半と後半が正の値を示している。つまり、男女が一緒に暮らすなら結婚すべきであるし、婚外子は好ましくなく、一生ひとりであるより結婚したほうが良いと

いう考えをもっていることとなる。しかしながら、女性は30歳代になると非伝統的な結婚観を持つようになる。彼女達は、加齢に伴い非伝統的になる。前述の男女の性別役割分業と同様に結婚観に対しても男性が保守的な考え方をもちのに対し、女性は革新的、つまり古い結婚観にとらわれない考え方をもちことが明らかとなった。

2000年の国勢調査によると、30歳代前半の女性の26.6%が男性の42.9%が未婚である。また、30歳代後半でも女性が13.8%、男性の25.7%が未婚である。わが国の少子化のもっとも大きな要因は、20代後半から30代後半の男女が結婚をせず再生産活動に移行しないことである。今回の調査からも明らかのように、男女の間には夫と妻の役割分担についての考え方や価値観、そして結婚観についての男女差が存在している。男性は伝統的な妻として母としての役割を担ってくれる女性を求め、年齢が上昇すればするほどその傾向が強くなる。しかしながら女性は伝統的な役割分担ではなく、夫との新しい時代の間係を求めているのである。結婚についても男性は、保守的な考え方を示すのに対し、女性は新しい形の結婚を考える。このような相違が存在し、さらに男女間の乖離がすすめば、晩婚化や非婚化を食い止めることは不可能となろう。

#### IV. 自由回答一覧

##### 1. 夫婦票

#### 【問38 子どもを育てる上でであるとよいと思うもの、もっと充実してほしいもの】

##### ・個別意見

<p>① 設備が充実している小児病院。…いつも混んでおり、待ち時間だけでイヤになる。子供は突然高熱がでるので24時間みてくれる救急病院。テレビなどで、夜、具合が悪くなった子供が小児科の先生にみてもらえず亡くなるニュースをみると”あすは我が身”と涙がでてる。どうにかしてほしい。</p>
<p>② 母親が突然病気になった時、<u>低料金</u>で子供の世話をしてくれるベビーシッターなど。</p>
<p>・経済的な援助と、子供達の身の安全を守るためのシステムが欲しい。母親が家にいないとしつけや身の安全、精神的な発達への影響が将来どんな形で出てくるか心配、かといって働かないと経済的に非常に厳しい状況だと思う。(多くの家庭において)</p>
<p>・福島県郡山市が主催する「のびのび子育て広場」という活動がありますが、それは公民館などにお母さんと子どもが集まって、お母さんたちが当番を決めて遊びを企画するものなのですが、ボランティアの先輩ママが2名つき、最初お母さん方がとまどっているころは中心となって遊びをリードしていきますが、慣れてきたころ、あまり口出しせずあたたかく見まもって、また育児の相談役になっているというものです。そこを卒業してママ達は次は自らがボランティアとなって地域のママをささえていきます。このやり方のよいところは「遊んでもらう」のではなく、「自らが主体となって子供と遊ぶ」という点です。最初は知らぬ同志、遠慮していても、3人くらいのグループで来週はどうやってあそぶかを考え、行動していくととても積極的になるし、社会に貢献していると実感もでき、よいと思っています。八王子はそういうのはあるのですか？</p>
<p>・雨の日などに自由に地域の子供達が遊べる場所。(公民かんのような所でちゃんと係の人がいてくれる)</p>

**【問 43 ボランティアによるサービス：「その他」の自由回答】**

<b>【病気時の保育などに関するもの】</b>
・熱を出した後の一日程度のベビーシッター
・体調不良時の預かり
・母親の病気の際の子どもの世話(送迎を含む)
・急病の時の預かりと病後受診
・緊急時に即対応できるところ。例えば母親の入院時留守中子どもの世話をしてもらえることなど。
<b>【家事援助等に関するもの】</b>
・買い物, 布団干し
・ヘアカット
・子供服や用品の店の情報
・離乳食の調理実習会
・料理講習会, 趣味講習
・食事の献立を相談して決め, 作ったものを指定した時間に届けてくれるサービス
<b>【子どもの安全に関するもの】</b>
・交通安全, あいさつ運動
・自転車の乗り方や交通ルールの教室
・被害, 犯罪のリアルタイムでの提供, 解決した時の通知
・防犯パトロール交通安全指導で地域の方に協力をさせていただきたい
・パトロール: 公園まわりや人通りの少ない所
・子供達の身の安全を守るためのパトロール等(放課後遊ぶ時間帯, 帰る頃, 下校時など)
・女兒に対する護身術
・防犯のための講習会を子ども向けにやっていただきたい
・今, 物騒で, 子どもだけで公園で遊ばせることができないので, 公園内で子どもを監督し, 不審者から保護する人
・小学校登下校時の安全のための通学路の見回り。及び学童保育所の帰りの付き添い
<b>【子どもの遊びに関するもの】</b>
・子どもの遊びの見守り
・スポーツ教室のようなもの
・学童のクラブ充実
<b>【子育て相談等に関するもの】</b>
・子どもの事はもちろんだが母親(父親)の悩み相談
・育児全般について相談できる施設
・電話による育児相談
・母親の話相手, 場所は自宅へ出張してもらえる。良い施設や集いが外にあってもなかなか外出できない, しにくい。性格上苦手等ある母親に対してのサービスがあれば。
・母親の精神的ストレスに対する相談
<b>【子どもの教育に関するもの】</b>
・家庭学習の指導について
・習い事に行かなくても済むように子供達が集まってピアノやバレエや英会話などに触れる事

<p>ができるサークル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強を教えてくれるボランティアのサークル。気楽に勉強の出来る自習室が欲しい。</li> <li>・学習サポート，公立小学校・中学校の人的整備，不登校サポート</li> </ul>
<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの使い方</li> <li>・土日，祝日等の学校開放，できれば平日</li> <li>・インターネットではかなりの情報が得られます。全ての人がある情報にふられたらいいのに・・・と思います</li> <li>・地域の伝統文化・芸能を子供に教える。子供会の活動を援助して欲しい。</li> <li>・子どもの成長において必要な栄養について教えていただきたい</li> <li>・大人や御年寄りと接する機会</li> </ul>
<p><b>【ボランティアによるサービスに関する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもは社会が育てるものだという意識を持った人が子供の周りにたくさんいてほしい</li> <li>・「子どもの世話に関すること」「子どもの遊び場提供に関すること」のサービス提供はあまり一般的に役立たないと思う。一部の人のみに通用する物であると思う。私の友人・知人でボランティアの人に来てもらった事がある人もいるが，来る人が毎回違うし，やり方も丁寧な人もいれば，事務的な人もいたと言っていました。結局，昔ながらの近所のお世話焼きおばさんが懐かしいと最近思います。知らない人に預けるのは危険だし。</li> <li>・子どもの世話などについてはしっかりとした公的機関でなくボランティアの方をお願いするのは怖い</li> </ul>

【調査票末尾の自由記入欄抜粋】

<p>・少子化問題があらこちらで取り上げられながら出生率があがらないのは、国全体の取り組みが甘いからだと思います。わが家では、第3子が今年から幼稚園に通うようになりましたが、収入制限がかかって補助金がもらえません。児童手当も医療費もあてにしていたのにはずされてしまいました。収入は増えても上の子どもたちが成長していくとそれなりに出費も増えてきます。補助金の制限が必要なかどうかじっくり検討していただきたいと思います。</p>
<p>・保育園に入りたいのに、いつまでたっても入れない！ 仕事をしていないと受け付けてくれないのにいつまでも入れないから仕事してもクビにされてしまう。そうすると保育園に行けない。すごく矛盾していると思いませんか？その上、条件で決まってしまうからいくら早く出してもあとまわしにされてしまう。幼稚園が安くて保育園ぐらい見てくれたら良いのに。</p>
<p>・小児夜間救急が八王子医療センターと東海大学病院になりましたが、八王子の北西部に住む私達にはとても不便です。休日の当番医も市の南東部の病院ばかり、南西部の病院ばかりなどがあるので、もう少し色々な地域にならにののでしょうか？八王子も北西部は交通の便も悪く、中学生は自転車で大型車の横をすり抜ける様に通学しています。歩道は狭く、ベビーカーや車イスでの通行も難しい様です。もう少しなんとかなりませんか。</p>
<p>・女性の社会進出がさげばれていますが、あまりにも日中人が少ない住宅街、公園、通学路。できれば子どもが小さいうちは母親が働かなくても地域で安心して子育てできる環境がほしい。子育てはとても大切な仕事だということを親や国も認識して共働きばかり優遇するのはなく、子どもと過ごす貴重な時間を充実できるような場所があればいいと思います。</p>
<p>・今は児童連れ去り事件等の犯罪が多発し、不安がつのるばかりです。PTA（小）で防犯対策の話し合いパトロールのやり方等、いろいろ活動していますが、なかなかむずかしいです。アンケートの終わりの方にボランティアの事がありましたが、是非、市をあげて子どもを守る環境をつくってほしいと思っています。</p>
<p>・市内に子育てに関心や興味のある人は多いが、中心となる場が市中心からはなれていて、クリエイトやビュートワーなど中心部に子どもをつれて遊ばせながら相談できたり、交流できたり、情報をつかめる所があれば市が活気付くように思う。皆が必要としているし、老若男女が集まる場、子づれで市内を買い物をしても寄る場がなく、用を済ませてすぐ帰ることになる。図書館でゆっくり本を選びたいが子どもがいるとゆっくり見られない。保母がいてくれるか子どもが遊んでいられる場があると良い。行くと走り回りせわしく帰ってくるようになる。</p>
<p>・学校が週休2日になって増々母親は働きにくくなった。学校の先生のサラリーマン化によって部活動が活発に行われなくなり、家でゲームをしたり、ダラダラと遊ぶ（何かをするわけではなくただ集まる）子供達が多くなってると思う。学校によっては部活のさかんな所もあるのかも知れないが、私の知る所ではあまりない。</p>
<p>・少子化対策は、小学校低学年時期より社会の一員としての自覚を育てることだと思っています。教員の方々の事務的な仕事を減らして教育にける時間をふやせるようにもう少し自由な教育活動ができるよう親やまわりの大人が子供にもっとがまんを教えることだとおもいます。さわぐ子供に少し体罰をかした位でまわりがさわいでいては子供は変わらないと思います。</p>
<p>・少子化は大きな問題です。常勤ですが子育ては本当に負担が大きいです。保育園の迎えの時間を気にしながら仕事を切りあげています。子どもを持ち、生活水準を保つのは厳しい現状です。社会の宝を育てている人にもっと住みよい社会を希望します。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「少子化」とは言われていますが、現時点で私が住んでいる地域には子供が多いのか、保育園を希望していても結局入園できずに待機状態のまま幼稚園の年少に変更する事になってしまいました。再就職も早めに考えていましたが、保育園の増設や託児施設の増設を強く望んでいます。地域にムラがあるのはツライ事に思います。子供をあずけたいと思い探しましたが、どこも定員オーバー。現時点で少子化の現実を実感する事が出来ないというのが正直な気持ちです。市役所の方に考えていただきたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供を持ちたくなくて子供がいない人だけでなく、出来ずに心を痛めている方も多くいる事を知って下さい。少子化といわれていますが、子供がいる家庭では3、4人は決してめずらしい例ではなく、私のまわりにもたくさんいます。結婚をしないで仕事を続けるというのもとても素晴らしいとは思いますが、シングルの人が増加しすぎた事が最大の原因だと思います。産休制度があるといっても私が勤めていた職場は代理では済ませない仕事内容で、実際は後任育成に半年もの間かかわり退職していました。残業があたりまえの今の時代、フルタイムは主婦には難しいです…</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てをしていて一番心配なのは、子どもの事故や誘拐、変質者です。特に誘拐事件が多発しているこのごろは子どもに注意をしていてもとても心配です。たとえば、公園や通学路にボタンひとつで大きな音の出るブザーを備えたり、派出所に直接つながり、場所が特定できるブザー付き、機種をあちこちに備えつけて欲しいです。本当になんとかして下さい！</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方では公立幼稚園があるのに、東京、神奈川などにはないのはなぜですか？経済的な負担が大きく周囲のママも「納得いかない」と言っています。</li> <li>・”子どもがほしくてできない”という友人がたくさんいます。それについての調査内容も入れてほしいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性が結婚、出産しても働き続けるのが当然の社会となり、仕事の面で男女の不平等感は減らされる一方、少子化の面から見ると家事育児の男性の参加は時間的にも肉体的にも無理があると思います。子育てが女性自身にとっても次世代の為にもとても大切で素晴らしい仕事だという事をもっと主張して、その上でどちらかを選択できる事ができる社会が理想です。個人的には子育ては中途半端な仕事よりはるかに責任のある仕事であり、その為に子供たちとなるべく同じ時間を共有したいと考えております。女性の社会復帰できる対勢も専業主婦としても経済的に生活できる対勢を整えることも同等に考えることが少子化には必要ではないでしょうか？</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果のまとめを市の公報にのせてください。主婦共稼ぎの場合の家事・育児・仕事に対する現実と意見など、他の家庭の場合を知りたいです。</li> <li>・保育園・所に対しての意見と市の考え方、現状を紹介して下さい。仕事をもっているのでも私としては子供をあずかってくれるのなら、あと2～3人40才すぎても生みます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近少年少女犯罪がふえていたり、夜中でも子供が町中にたくさんいたりすることがあったり、ほんの一部の家庭のことなのに子育てをしている親すべてがよくないような書きこみをネットでよく見かけたりします。今は核家族ばかりで不景気のせいとか夫の帰りもおそく、子育ては妻の仕事という家庭は多いと思います。少子化が進んでいるのはそんな理由もあるのではないのでしょうか。子育てをしたくなる社会になってくれたらいいなと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の対策は遅れれば遅れる程難しくなります。今、子供を持つ人に対しても、すぐに必要な対策が沢山あると思います。一刻も早く社会の発展のために、将来のために、行政の働きを期待します。</li> </ul>



<p>・核家族化が進み、少子化もあり本当に子育てしにくい。子供を産んでみてしみじみ実感。私自身、核家族で育ったので育児の大変さなど分らないことが多かった。子供が幼稚園ぐらいから、もっと幅のある年齢層の子供たちがふれ合える場を作る事も必要では。大きな子の言うことを聞いたり、小さな子の面倒を見たり、もっと小さな赤ちゃんとふれ合ったり。子育ては地域にとっても大切なこと。皆が暖かい目で見られるようになればもっと育てやすくなるのでは。(公共交通機関などでの対応など) 地域での「おじちゃん、おばちゃん」の目が無い今、父親の育児は必要不可欠！ 父親の育児休暇が普通になることも必要では。母親の負担が大きすぎる。仕事をして保育園に預けた方がよっぽど楽だと思ふことも。息ヌキに仕事でなくても子供を預けられる(一時保育)施設がもっと欲しい。ずい分と違うはず。それと子供が3歳をすぎたら働きたいと思ふが、せつかく働いても保育費と同じでは安いパートぐらいしかないと思ふのやら…。キャリアのある女性が働かないのは勿体ない。ワークシェアなどが広がれば良いのと思ふ。これは女性だけでなく男性にも。男性にも幅のある生活環境があれば夫婦で融通しあえる。社会にゆとりがなさすぎる。</p>
<p>・出産について色々聞いたほうが良いと思ふ。男の人はもっと出産について理解して欲しいから。病院も立ち合い出産が可能な病院をもっと増やして欲しい。</p>
<p>・アンケートの集計結果が知りたい。産後すぐの現在でしたので、特に産前・産後(特に)の母親の精神的不安定なものをフォローできるものがあればと思いました。あつても外出しづらい家庭状況、性格の人もいらっしやると思ふ。ある意味一番辛い? 時期であると思ふ。</p>
<p>・少子化問題といわれますが…。社会現象の1つとして、治安の悪化、経済不況、人間関係の希薄さと子供を育てる環境があまりにもなさすぎる様な気がします。社会だけではなく、モラルのない人間が目立ち、子育て以前の問題と思わせる大人が多すぎると思ふ。</p>
<p>・仕事を持つ母親としては、もっと環境がととのつていれば、子供を産もうと思ふ人が増えると思ふ。正社員ともなれば子供の病気や学校の行事での休みがとてもとりづらく、肩身のせまい思いや子供に淋しい思いをさせます。社会全体が子供を育てやすい環境作りをしてほしいと切に思ふ。このアンケートが無駄にならない事を願ふ。</p>
<p>・八王子市は保育園が少なすぎます。400人の待機児童がいるということにもっと積極的に改善をはかって欲しい。又、私は保育園をあきらめたので幼稚園を考えていますが、またこれも入園が大変なようです。入園の為には2歳から慣し保育に入れないと希望の所には入れないなど、時間的、経済的負担がかかります。新しく町を作るなら一緒に保育園、幼稚園、学校も増やしてください。みなみ野には十分な幼稚園・保育園がありません。他の地区とは少しキョリがあります。</p>
<p>・子育てをしていて思ふ事の1つとして、核家族が多い地域だけにいかにして近隣と関わり助け合いをしていくかが大切に思ふ。地域皆で子どもを育てる環境づくりが必要。それから子どもの教育費への市や国の援助を期待しています。</p>
<p>・この調査を実施したことによる満足感に決して安住することなく、形として早期に表してもらふことを望みます。統計をとつて入力したことをゴールにしないで欲しい。八王子市は、大所帯の割には子育てに必要な環境がいまひとつであると常々感じている。</p>
<p>・近所に大きな公園があるのですが、暗いし、汚いのでキレイにして欲しい。全天候型の公園があるといい。駐車場付きの大型公園があると嬉しい。教育費の援助がもっと充実して欲しい。</p>

<p>・私は人も動物の一種であり、子ども子孫を持つことが喜びであり、当たり前のことと考えています。そしてあたたかい家庭があることが最高の幸せだという気持ちで子育てをしてきました。その結果子供たちはおかげ様で素直に育ち、将来は結婚を望み、2人以上の子供を持ちたいといっています。でも今は私のような考えは少なくなっているのが現実のような気がします。あまりにも経済の豊さを追究することのみ力を注いだ結果、大切な心が失われて大切なものを見失ってしまったように思えてなりません。</p>
<p>・私たち夫婦が子供を持たないのは、夫の収入が低く、妻を養えないのにも関わらず結婚したため、私は働き続けなければならないからです。昔の様に妻子を養える人だけが結婚した時代ではないので、夫婦という形態でありながらも私たちのような行き方をしている人も多いと思います。しかし、夫婦である以上というか人間として（女性として）生まれてきたからには子供を生まない人生はあまりにも淋しくみじめだし、何のために生まれてきたのかと半人前の負い目を感じています。人間的にも子供を持っている人のほうが魅力的だし、出来ないのならともかく出来るのにつくらないのは悲しいものがあります。少子化のことを考えるなら、子供を生んでマイナスなことが何ひとつない状態でなければ、私のような状況の人は子供を生むことができません。社会の整備が整うまで、とりあえず生んだら「もうかる」くらいでないと女性はますます犠牲を払ってまで女の幸せを手にしたとは思いません。少なくとも産休・育休中や給料・育児にかかる費用、失職の場合は再就職までの生活費そういうものを保障してほしいと思います。</p>
<p>・今、少子化対策が取り上げられています。産むか産まないかは本人の自由だと思います。生涯に産む人数が減ってきているのは、仕事の両立もありますが、就職難やリストラ（減給）で出来に対する不安や子供1人にかかるお金のことを考えると、たくさん産むのは難しいと思います。今2人の子供を育てて学費等でこれ程お金がかかるのかと実感しています。家ローンなどがあれば1人の給与で暮らしていくのは不可能です。保育施設の件もありますが、義務教育終了後の進学（都立高の閉鎖など）についても考えてほしいです。</p>
<p>・子供が小さい時に色々こまった事や心配な事などがあり、相談等でお世話になった事も（公私共）多々ありましたが、総じて机上的だったり、あまりにも一般的だったり、冷たく事務的だったり…。頭でっかちの専門家も良いのですが、もっと広く普通の生活から学び取った方々のお話が聞きたいととても思ったものです。（おばあさんとかベテラン主婦とか…）</p>
<p>・少子化になる原因は、経済面と女性の負担が多いと思います。これが改善できれば出産する女性が増えるかもしれません。国は何もしてくれません。市町村各自治体がもっと力を入れてバックアップするべきと考えます。実際、八王子市は頼りない為、他市町村で出産・育児を考えています。少子化を考えるなら行政の体制を再検討して下さい。</p>
<p>・現在第1子が保育園の待機児となっており、仕事と育児の両立の難しさを実感しております。第2子を希望していても悩みや不安ばかりの現状ですので、早急にこの調査が活かされることを願っております。</p>
<p>・少子化＝子供をもつつもりがない、などとは思わないでください。ほしくてもできない人も増えていると思います。不妊治療についてもっと情報や補助が欲しいです。</p>
<p>・共働きで子育てをする環境は思った以上に厳しいです。友人達を含め、子供は欲しい、できれば2人以上欲しいけれど、仕事を続けていくことを考えると手ばなしで欲しいとも思えないというのが本音です。男性、女性を問わず、育児、家庭のあり方についての考え方を変える基礎となるような制度作りを期待します。</p>

<p>・子どもが病気になったとき、八王子小児病院で無事に手術をすることができ、今では元気に毎日を過ごしています。夜間、病院にかけこむこともありました。小児病院があつてとても助かりました。どうか存続できるようにお願い致します。</p>
<p>・2才位までの間、安心して子育てに力を注ぐ事ができ、その後もネットワーク（夫、コミュニティ、両親など）の中で子どもと母親が抱えられているという具体的なモデルが示されれば、出産・子育てに関わる不安の一部が解消されるのではと思います。</p>
<p>・結婚、出産を期に新しい場所に引っ越してきた場合、子と自分2人だけの家の中の生活になり、まわりの人も知らない人、公園に行っても知らない人ばかり、まして地元の人にはよそ者が来たという感じで相手にしてくれない。そんな雰囲気がとてもつらい。気軽に話しのできる場が近くにあつて受け入れ体制が開放的で相談にのってくれる場があるとすごくホッとできて、ストレス、子育ての疲れもいやせるのではないかと思う。私にとってはそういう場が必要だったが、なかった。</p>
<p>・子どものために仕事を辞めたましたが、子どものためにはこれでよかったですと思います。でも子どもがもっと大きくなった時に「なにをするか？」という課題があります。そうなった時、専業主婦にはボランティアか趣味かという選択肢になってしまうのは残念。「仕事」という選択肢がもっと選びやすい社会にあんってほしいと思います。仕事を辞めてたくさん出産するつもりでしたが、思いもかけず、病気になりできなくなってしまいました。子どもがほしくても作れない事情を持つ家庭があることを知ってほしくて書きました。</p>
<p>・少子化する1つには教育費をはじめとする子供にかかる金額（育てる為に必要なお金が）必要なのでその負担が大きいせいだと思う。事実、私も3人欲しいと思ったが、我家の経済状態を考えると2人までだと感じた。産んだらどうにかなるという時代ではなくなっているのをつくづく感じる。今の若い親は育児だけというより、幼稚園に入ったらパートに出たいと思っている人も多く、少子化の要因の1つにもなっていると思う。</p>
<p>・経済的な問題等もありますが、少子化の原因の一番大きいところは現在の不安定な社会状況にあると思います（非行・犯罪など）。安心して暮らせる社会であれば自然と子供の数は増えてくるのでは…と思うこのごろです。</p>
<p>・私達の住む町は新しい町ですので、ほとんどの方が家やマンションを購入して、幸せをユメみてひっこしています。ですが、幼稚園は3日も前から並ばなければ入れない。保育園もかなりの子供がまっているとききます。何とかしてほしいものです。</p>
<p>・子どもを産める、育てられる街にして下さい。最近、不審者が多く、安全面でとても不安です。防犯ブザーの配布もしくは援助など、何か動いて欲しいです。働いている間も不安でたまりません。</p>
<p>・少子化問題にとりくむ事はとてもよい事だと思います。しかしこの不景気の中、出産、子育てすべてにお金がかかります。また子どもたちが大きくなって全員が仕事につけるのでしょうか？まともな生活をしていけるのかが心配です。</p>
<p>・将来子供達が就労できるような社会を確立していただきたい。公立の教師の学力が低下しています。研修等を強化して頂きたい。</p>
<p>・子育ての関連でも書いたのですが、小児医療の充実を望む人がとても多いです。通っていた病院のやり方が変わり、子どもがベビーベッドから落ち、診察を頼んで断られたこともあります。夜間に隣の市の病院を紹介され、行っても何もしてもらえなかったことや、かかりつけの小児科の休診日で困る人もいます。ですので、小児医療の全科、夜間での充実を希望します。</p>

<p>・住宅事情、教育など、子育てには金銭がないと生活していけない。周囲が皆しているのに習い事をしない訳にはいかないが、3人以上だと経済的にかなりの負担がかかる。児童手当、税金の減額があっても子供が増えれば増えるほど経済的負担がかかる。(結局貧乏人の子沢山になるのもうこれ以上は...) 医療費だって3人いるとばかにならない。せめて小学生の間はまだ補助があればと思う。インフルエンザの予防接種も2500円×2回×3人=15,000円となり、いくら有効と言われても思案してしまう。子沢山の家は病気も予防接種もしてはいけないのかとってしまう時がある。</p>
<p>・少子化の問題は、八王子だけのものではなく、国全体で考えねばならぬこと。こういったアンケートで意見を取り入れるのはよいが、各自治体が独自に行うのではなく、対策を含めて国全体統一した動きでなければならないと思う。少なくとも義務教育が終わるまでは全ての子供を国が援助し、等しく扱うべき。</p>
<p>・前ページにも記入しましたが、武蔵野市にある「0123」という公的施設は、子育て中の親子にとってとてもよいサービスだと思います。八王子市にも同様の施設が早急にできることを要望いたします。どうかご検討下さい。</p>
<p>・収入が減っているのに(増えないのに)税金ばかり増えておかしい。年金だって出なくなりそうなのに、今さらつみ立てと1か月=1万円増やすとはどういうこと? おかしい!政治家や大金持ちだけがやればいい。</p>
<p>・女性が働くようになって女性も負担が増えるだけだと思います。世の中は女性の社会進出が大きくなってきていますが、男性の意識はまだ古典的というか、昔のままの方が多いのではないのでしょうか? 特に我家では夫の協力は得られそうにないので、私は子供が小さいうちは働くことができない(体力的に)と感じていました。男性の意識が女性も働いて当たり前、家事も当然分担してする、子育てに関しても夫婦が責任を持つ、という風にならない限り、どこかアンバランスな女性の社会進出(実際女性が大変な思いをする)だと思います。我家の主人は私がパート勤めをしていた頃、パートという地位を低くみていて、パートだから休んでもいいだろう、パートだからそれほど責任がないという意識が持っていました。私自身はパートだからいいかげんにするという気持ちはなかったのですが、足をひっぱられた感じがしました。</p>
<p>・小さい子供を安心して2~3時間程度預けられる(例えば通院などの間)施設などあるといいと思います。いつも行っている児童館など</p>
<p>・既に子育て期を終了しつつある私ですが、最近のこの国の状況を思うと、果たして子供を産んでしまって良かったのだろうかと考えてしまいます。社会不安を市の単位で完璧に払排することは難しいとは思いますが、少しでも「子育てをしやすい市」の方向に進んでいただければと思います。たとえば、育児期の税制を大幅に優遇する、保育関係施設の充実、小・中学校の質的向上(特に教師!)など。自然環境は区部に比べてはるかに良いと思われれます。それは大きなメリット。</p>
<p>・本気で少子化対策をお考えでしたら、市としての子育て支援のアピールをもっともっとするべきです。広報はじっくり読む時間もないのではないのでしょうか。また、将来の経済的不安も現在の不況の中ではかなりのものだと思います。子どもを持ってなった者が言うのは申し訳ないですが、何とか少子化をくい止めて欲しいです。頑張ってください。</p>
<p>・乳幼児を預けられる公的施設が少なすぎる。認可されていても保育料が高額の為、利用できない。以上の事が出産を控えさせてゆく理由の一因でもあると思われる。</p>

<p>・学校をもっともっと活用していろいろな事業をしてほしい。放課後にボランティア活動やいろいろ…。子供の安全をかくほできる場所が少ない。土曜日、学校が休みというのは親にとってはこまる。土・日休みの仕事をしている家ばかりではないし、けっきょく行き場は習い事となってしまう家計はあつぱくする。</p>
<p>・近所の後援で子供を遊ばせているお母さん達は皆子供好きで「もっと子供を欲しい」と言っていますが、「経済的にムリ」と口をそろえてそう言っています。うちもそうです。金があれば迷わずのう一人産もう！と思えるのですが。</p>
<p>・児童手当，医療手当と収入に応じては仕方がないと思いつつ，少子化といわれる中，3人子供がいる中そのどちらとも援助がないというのは同じ子供を育てる上で少しでもあればと思ってしまう。</p>
<p>・この調査に対してというわけではありませんが，女性の意識（子供に対して）よりも男性が，社会全体がもっと理解を示さないと子供は益々少なくなると思います。生んでもいいと思っている女性がいても，それによって差別行為がなされたり，男の人の育児休暇が一応あっても実際それを本当にとれるのかどうか……。少子化をなくすにはまず，男性の真の意識改革と社会全体の（会社全体）のバックアップが必要だと思います。ご自分の奥さんがもしフルタイムで働くと言った時，会社を休んで子供の面倒を見ることができますか？ に Yes で答えられる様になるともっと子供が増えると思います。男性に対しても意識調査をすべきだと思います。</p>
<p>・少しでも小さな子供がいても近くに買い物がいけるよう，マンション建設ばかりでなくスーパーやショッピングセンターを作してほしい。バスの乗車等案に出来る乗り物も増やしてほしい。病院に行くにも大変です。</p>
<p>・八王子に転居してきて，まだ不慣れなことばかり。その上，出産もしてますます外出する機会も減り，なかなか子育て・育児に関する情報が不足しているので，市のホームページなど，もっとわかりやすく，内容を充実させていただけるとありがたいです。</p>
<p>・少子化を考えて頂けるならば，なぜ小・中学校などに対しての補助金を減額するのですか？ 充実した学校生活を送らせてあげたいのに，現状では出来ていません！ そんな状況では子供を増やそうなどは考えられません！ 未来を築く大切な子供達に，もっともっと色々な経験をさせてあげたいのに，その資金がどこにも無いのはどうしてでしょうか？ 無駄な市税の運用をもっときびしく見直す必要があるのではないのでしょうか！！</p>
<p>・日本という国の問題として，子供を産んで無事に育てていける世の中だろうか…ということ，強く不安に思います。何でも便利で欲を増張させるような現在の状態は，もっと考え直していかなければ今後もっと大変になると思います。</p>
<p>・少子化と言われてはいるが，現在出産育児に直接面している私どもにとって，さわいでいるだけで安心して出産，育児をできる環境になかなか変わりません。直接何をしたら良いのか分かりませんが，アンケートが何かのお役に立てれば，そして何かが変わればと思っています。</p>
<p>・市の施設を充実してほしい。八王子のはしっこに位置するので何事も不便。広すぎる事はわかるが他県からきた者にとっては特に感じます。市の財政が厳しい事は常々聞いていますが，教育，福祉に関しては予算を削ることはないと思う。</p>

<p>・私達が小学生のころは、基本的な勉強（かけ算，分数，漢字等）を長い時間をかけてみてもらうことができましたが、昨今，ゆとり教育という名のもとに中途半端な授業ばかりで，基本を身につける事ができていない様に感じます。それ故，授業について行けない子が多く出来，学習塾に行かざるを得ない状況で，それに伴い教育費もかかるのが現状です。いたちごっこの様ですが，回りまわって子供を何人ももてない理由はその辺にも有ると思います。</p>
<p>・（公園で遊んでいても安全であるようカメラ（各家庭のP.Cで見られる）や杉並区のように警察にすぐ連絡のとれる防犯灯（?）を設置して欲しい。交番の警察官常駐も望まれる。）</p>
<p>・子供を欲しても，安心して産める条件が少ないです。保育園の入園が厳しすぎます。又，入園後のケアも足りません。結局，母親には余程キャリアを持つか，パート的な仕事かありません。このままでは，老人ばかりの市になってしまうかもしれません。</p>
<p>・小学校6年生まで医療費を控除してほしい。</p>
<p>・市でも子供についていろいろ考えていただけているのだと思いました。小学校は授業時間が少なく自宅ではなかなか自分から勉強しないので塾などに通わせる以外ありません。お金もかかります。何か悪循環のような気がしてなりません。対策をお願いします。</p>
<p>・少子化の問題については不妊症の治療が自費（健保が効かない）になることにも原因があるように思われる。子供が欲しくてもなかなかそこまで踏み切れない夫婦の為に，助成が必要ではないかと思う。</p>
<p>・経済的問題がなかったら，あと何人産んで育てていただろう。でも子供を産むかどうかはまったくの個人の自由であって少子化も自然の流れだ。これからはどんどん増えていく高齢者の生活の不安を取りのぞくための政策が大事だろう。若者の負担を軽くするためにもそう望んでいる。</p>
<p>・この調査の内容に関連しているかどうかはわかりませんが，医療費乳の対象になれるかなれないかの「年収」が世帯主のみというのが不公平に感じています。夫婦の総額になぜしないのですか？また乳があるから少しぐらいのことで病院に連れて行くことにつながっていて，子どもにとって自然にそなわる免疫力をジャマしているケースが多いです。乳は無料ではなく，補助（減額）にするべきと考えます。その分で所得制限を上げて下さい。</p>
<p>・少子化は，不妊の問題もあると思います。近くに不妊治療の専門病院を充実させてほしいと思います。</p>
<p>・子育ての一番障害は，フルタイムで働いた場合の長時間労働と長期休暇（子供の夏休みに合わせて2週間以上）がとれない等，安定した収入を得るための就労形態があまりにも子育てと相容れない状態になっていることだと思う。この部分に大きな変化がない限り女性は子供を産むのをためらうでしょう。問43のサービスで解決できる問題ではないと思う。※こういうサービスを支援する公的資金は小出しでばらまかずに，上記の就労形態の改善に取り組む企業への減税や補助金などの形で利用した方が長期的に社会全体の変化につながるのでは？</p>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国が実施する調査は調査員が自宅に来て説明し，後日取りに来るが市の行う調査は「お願い」の紙のみで市民に対するサービスに国と差が大きすぎて大いに不満</li> <li>2. 市が行う子育て施設は手続きが面倒なのと対応が悪いので早く「民間委託」してほしい</li> <li>3. 少子化の原因にはいろいろな要因があると思いますが，日本古来の「箱物的」発想を早く捨て，ソフト面の充実に移行して行ってほしい。</li> <li>4. 八王子市は大きいので多摩NT側は多摩市と合併する等の検討を考えてはどうでしょうか</li> </ol>

<p>○ 妊娠・出産に関する全ての医療費を無料にするべき。</p> <p>○ 収入の多少を基準に優遇せず、一律にする</p>
<p>・幼稚園児がおりますが、八王子市には私立の幼稚園しかないにもかかわらず、その保育費の補助が年収によって制限されるのが、納得できません。幼児の医療費についても同様です。子供を幼稚園にやるのも、医者にかかるのも、年収などには関係ないはずですが。ましてや、たかがサラリーマンの収入に高いと言ってもたかが知れています。おさいふをのぞきながら、子供を病院に連れて行くべきか悩むのは、間違っていると思うのですが。八王子市が少子化を考えるのなら、市としてもう少し育児全般への支出を増やしていただきたいと思います。</p>
<p>・女性が子育てをしながら働ける社会環境を整えることがこれからの課題だと思います。少子化問題や年金問題にも関わる問題です</p>
<p>・子供を育てるには、20年近く経済的負担が続くので、会社員などリストラが当たり前の社会では子供どころか自分たちの生活すら危ない状況でとても子供をたくさん持つ気になれない。又、家庭の経済力で子供の将来が決まってしまう世の中になってはいけないと思うので、八王子市では、いざと言う時の経済的サポート、心のサポート体制の充実、子供が安心して（交通事故や犯罪から）遊べる安全な町づくりを（住民の意識改革も含め）実行、全国に誇れる町にしてほしい。（したい）。</p>
<p>・現在、私立の幼稚園に通園しているがなぜ八王子には公立の幼稚園がないのか？子育てをするにはお金がかかるので、あるといいと思う。医療補助も、小学生まで対象にしてもらえるとう経済的に楽になる。少子化が問題な今、もっと、経済的援助や、保育園、保育時間の延長、児童館など充実してほしいと思っています。</p>
<p>・私達は長い間子供が授からず、何年も不妊治療に通いました。幸い諦めた頃（9年目）で授かりましたが、私の周りでも不妊カップルが多いです。声を大にして言えないだけに、市内で不妊の人が集う会などあれば良いと思います。ほしくても恵まれない人が大勢いることにも関心を寄せて頂きたいと思いました。</p>
<p>・制度をあてにするのも疲れてしまいます。恵まれていることと片手落ちなこと、しっかり見きわめる目が大切ですね。以前、妊娠を理由に八王子市の採用試験であとから（合格後）断られてしまいました。（健診がうけられないからとのこと）これからは期待します。</p>
<p>・来春3歳の息子を幼稚園又は保育園に入園させる予定ですが、私立の入園も難しく、公立の保育園も特例な方ばかりの入園を優先され、一般的な進学を希望する私にとってはとても狭き門になっています。幼少からの3年保育方針を転換させ、又は公的施設の拡充を八王子市全体で見直してほしいと思います。</p>
<p>・子供を持つと、教育にお金がかかるというのは仕方ありませんが、実際のところ、世間で言うほどかからないし（かけようによりますが）、この調査でも教育とお金についてたくさん問いがありました。お金がないと教育が出来ない、子供を持つとお金がかかるという風に思いたくありません。</p>
<p>・現時点では子供が欲しい（将来）と考えていますが、今後状況によっては子供を作らない選択も考えています。「産み時」について考えることが多くありますが、自営業であるため、自分の育児休業等はなく、幼稚園に預けることが可能なのか等、考えたら産めないと思うばかりです。今の状態では、積極的に子どもを作ろうという気持ちがおきません。（仕事も面白くなってきているし、両立の大変さを思うとできたら産みたいと思いますが、積極的に欲しいとは思わない。）また共働き夫婦が同じように仕事をしていて家事は女性の負担になることが多く、経済力のある女性は無理して結婚したいと思わない人も多いでしょう。環境作り同様、意識改革が必要だと思います。</p>

## 2. 独身者票

### 【調査票末尾の自由記入欄抜粋】

<p>・ 普段細かくここまで自分の将来設計について考えて（あまり）いなかったの、おもしろかったです。これからももっと考えていかなければいけないなと思いました。</p>
<p>・ 社会環境に対する要望を聞く事が最も重要なのでは？育児環境のインフラ整備をする事がポイントだ。保育園、等を無料化するにはどうすれば良いかを考えて欲しい。</p>
<p>・ 女性が安心してゆとりを持って家事、育児が出来る環境をもっとつくるべきだと思う。</p>
<p>・ 結果の公表をとおして、透明性の高い行政運営をしてください。八王子市は基盤整備が遅れている感があり、市民税を払った割に自分に還元されてくるという実感が沸きません。昼間市外勤務者なので余計に感じます。また適正な受益者負担（一部の団体が優遇されることの無い様）を求めます。</p>
<p>・ 結婚に適齢期は無いと思うが、出産・育児には適齢期があるとします。子供を親だけが育てるのでなく、地域や自治体が協力して環境整備を行なう事も必要ではないでしょうか。</p>
<p>・ 少子化に歯止めをかけるために、子ども、そして女性がもっと暮らしやすい社会をつくることは行政の急務と考えます。本調査が有意義なものになるよう切に願います。がんばって下さい！！</p>
<p>・ 理想としては子供は多くほしいけど、金銭的な面で共働きで育児をするヒマがないのが現状だと思います。</p>
<p>・ 少子化については子供を持つことの出来ない人もいることも忘れないでください。(病気の為)</p>
<p>・ もっと子供がいても働きやすいようになったら良いですね。学費についても収入についても将来が不安です。</p>
<p>・ 子供を作らないのは、生活レベルだけではないと思います。レベルが低くても子供をあずけて仕事をすればくらしていけるのに、保育園空がない。保育園の職員の態度が悪く、注意すると子供がいじめられるからあずけられない等、周りから聞くと子供はつくれなくなります。ともかく、将来が不安で子供を作る意識も低くなります。</p>
<p>・ 少子化の原因は、人ではなく、社会・自然環境にあると思います。それをふまえた上で、今回のアンケートは、より内容の深いものにして、ぜひ未来の人やすべての「生きもの」が幸せに生きることが出来る地球にするための参項にでもなれば、と思います。</p>
<p>・ 男性の意識がいつまでも甘えていて、女性には負担に感じる。自然な形で家庭の仕事にかかわることが大切。子育ての支援策をもっと国がサポートしないと現実的に女性が精神的に疲れて、子供を生む気もうせる。</p>
<p>・ 出産の際の医療費全額（通院費含む）を支給して欲しい。</p>
<p>・ 母子家庭なのですが、仕事をするのに保育園が入園できなかつたり、託児所も料金が高く定員がいっぱいで入れないので、そういった保育所などを増してほしいと思います。</p>
<p>・ 少子化対策としての政策を決定したら、広く宣伝すべきであると考えます。その政策を知らないでいる人間も多いので、広報・宣伝活動に力を注いでみては如何でしょうか。頑張ってください。</p>



<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供を大学まで出して育てる事を考えたら2人が限界だと思います。(金銭的に)。もし本当に少子化を止めたいのであれば、2人目意向の子供に対して1人を育てる以上に税金的にも有利になるような制度を使えるとか、年金の給付額をあげる等の根本的な対応が必要だと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の経済状況と雇用の喪失の中で、子孫を残すことは困難である。市場調査をしてもそれぞれ個々の生活状況があると思うので、もう少し詳しく調べた方がよい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市としては、子供を育てる、子供を産むために障害となる要素を洗い出し、援助することしか出来ないはず。根本的な解決のためには、文化と時代が西洋風(=家庭を大切にし、自分の時間を作る生活)に変わらないと不可能だとおもう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・親となる方々に多様な支援をして、自分の手で子ども達を育てられるような社会になるといいなあ、と思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人は結婚しないといけないのか？ 結婚した人を見ても、自分もそうなりたいと思える(理想?)人を見たことはないので、あまり興味ない。ネガティブに思える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の原因は街で騒がれている犯罪などにも関係していると思います。街で出会う異性を心から信用できず、一人で生きる道を選ぶ女性が増えている気がします。強姦やひったくり、ちかんなどビクビクして街を歩く女性も少なくないはず。少子化の問題の前に犯罪に対しての恐怖感を少なくして頂きたいと思いました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚して子供を産んでも女性の負担にならないような法的な制度をつくれば、皆安心して子供を産むと思う。今の制度ではとても無理。結婚して子供を産んだとたん男のどれいになる。再就職できないし、自立もできない。少子化は必然。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は子育てがしにくい社会環境になっていると思います。安全で安心して子育てが出来る社会であれば少子化することはないと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化について、とても深刻に思います。しかし、家族ができ、生活を支えていけるか不安です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚、出産、子育てに関する考え方はどんどん多様化してきていると思うので、少子化対策(子育て対策)もそれに伴った様々な選択肢が用意されるべきだと思います。</li> </ul>

## **V. 調査資料**

### **1. 単純集計結果**

- 1 - 1. 夫婦票単純集計結果 (62)
- 1 - 2. 独身者票単純集計結果 (93)

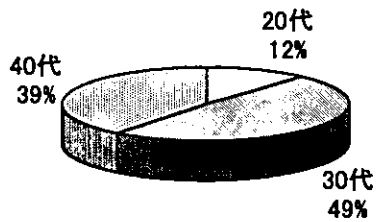
### **2. 調査票 (夫婦票, 独身者票)**

- 2 - 1. 夫婦票 (110)
- 2 - 2. 独身者票 (126)

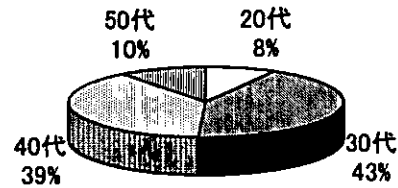
# 1. 単純集計結果

## 1-1. 夫婦票単純集計結果

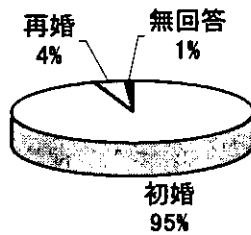
妻: 年齢分布 (N=717)



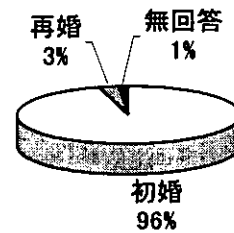
夫: 年齢分布 (N=717)



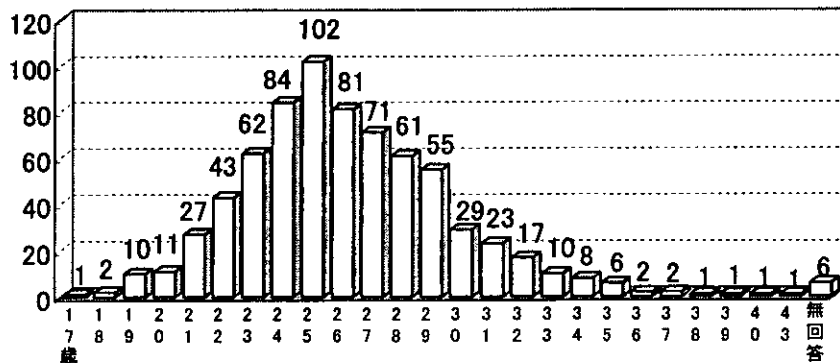
妻: 初再婚の別 (N=717)



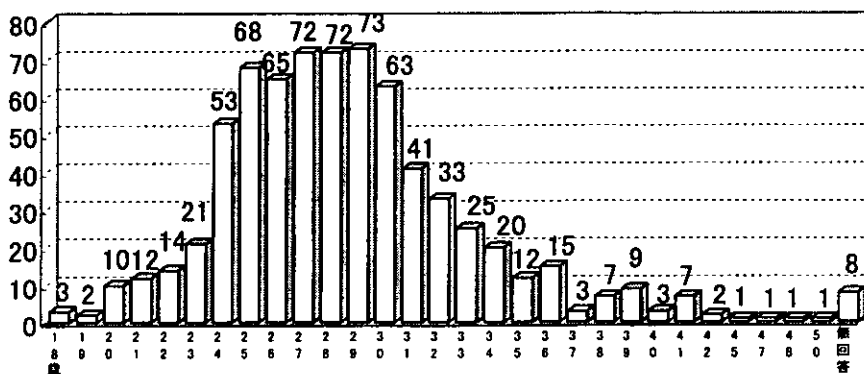
夫: 初再婚の別 (N=717)



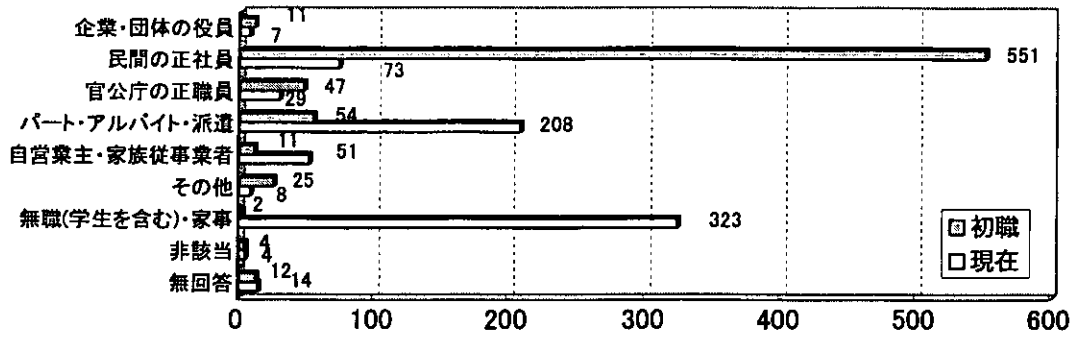
妻: 結婚時年齢 (N=717, 平均26.07歳)



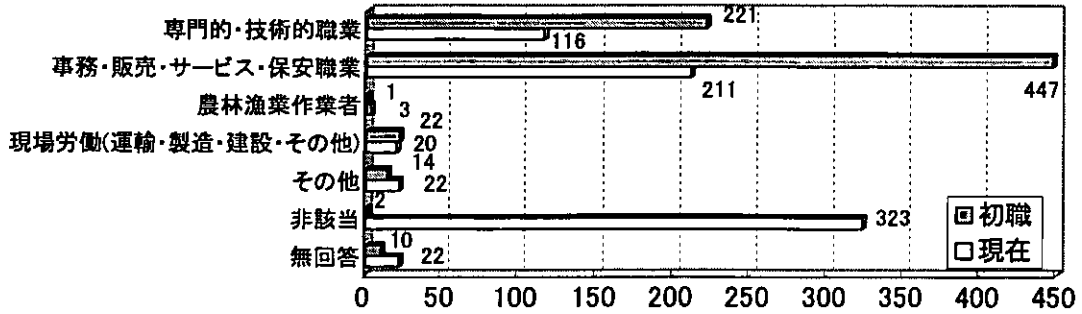
夫: 結婚時年齢 (N=717, 平均28.44歳)



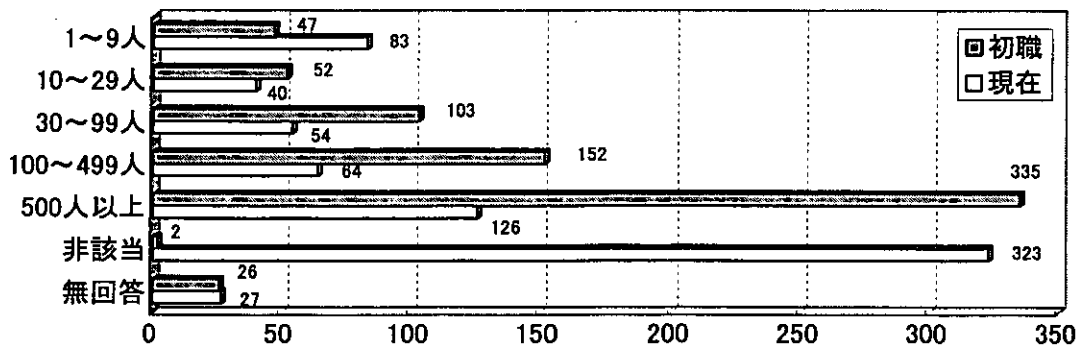
妻：従業上の地位(N=717)



妻：職業(N=717)



妻：従業員数(N=717)



夫：従業上の地位(N=717)

